

宮城県宗務所報

発行所
曹洞宗宮城県宗務所
仙台市泉区市名坂字檜町169-4
TEL 022(218)3801
FAX 022(218)3803
e-mail:sotou-miyagi@road.ocn.ne.jp
発行者 所長 三田村 道雄



(石龍山 西門寺)

樹々の緑が目鮮やかな季節となりました。

管内各ご寺院諸老師、ご家族様におかれましては、益々ご清栄のことと大慶に存じ上げます。

平素より宗務行政に対しまして、格別のご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、世界中で猛威を振るっており、新型コロナウイルスの影響及び感染拡大防止の観点より、管内各ご寺院様には、様々な感染予防対策等を執られていることと存じます。早期の収束を願うとともに、皆様も体調管理に十分注意し、感染予防に留意され、ご自愛いただきますようお願い申し上げます。

本年度の事業と予算を審議していただき、「定例予算所会」が三月開催されました。

上程した全ての案件が、無事承認されました。

また六月には、「定例決算所会」が開催され、令和元年度の事業報告・歳入歳出決算、更には職員特記の処遇改善を目的とした議



ご挨拶

曹洞宗宮城県宗務所長

三田村 道雄

案を上程いたしました。全員の賛同を得て、承認されました。

本年度の行事につきましては、新型コロナウイルス感染症影響の為に、特派布教教場・梅花流特派講習会・県奉詠大会・検定会等、各委員会で審議いただいた結果、本年度は中止とさせていただきます。又、宗務所施設利用につきましては、六月まで自粛していただき、各利用団体の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。七月よりは、クラスター感染に十分注意し、感染予防に心掛け、ご利用いただきたいと存じます。

今後は、「ウィズコロナ」ということを踏まえ、教化活動等に工夫し、宗務行政を展開してまいります。

何卒、ご支援ご愛賜りますようお願い申し上げます。

結びに、管内ご寺院様には、夏お盆・秋彼岸、恒期法要等を控えておられ、苦慮されていること存じますが、十分健康に留意され、ご法務されますようお願い申し上げます。

合掌

令和元年度第二回現職研修会

令和二年二月十二日〜十三日 於 ホテルニュー水戸屋

人権学習

講師
古箏演奏家 伍芳氏



第十九教区
長徳寺徒弟
佐藤 宗仙

東日本大震災から九年が経過し、多くの人々が以前の様な生活を取り戻そうとしています。その一方で現在も二五〇〇名あまりの行方不明者があり、未だ仮設住宅での生活を余儀なくされている方もいます。

この人権学習で震災からの復興をテーマに、神戸を中心に活動されている古箏奏者の伍芳先生の演奏を拝聴いたしました。先生は上海音楽学校を卒業後来日し、神戸

に移り住み、その地で阪神淡路大震災に被災することとなります。その際、来日するにあたっての頼りであった最愛の姉を亡くし、絶望を味わったといいます。

今回の演奏は先生自身が被災した辛い経験があったからこそ、同じく被災された方や遠く離れた東北の地で同様に辛い思いをしている人たちを少しでも癒したいという想いがあり、心に響くものでした。演奏中の立ち居振る舞いは美しく、繊細な音色の中にも力強さがあり、とても一つの楽器から奏でられているとは思えないほどです。

先生は、音楽は目に見えない世界だから、言葉で表現できないことを音楽で表現したいと言い、そ

それぞれの曲の中にはどのような想いを伝えたかったのか想像をしながら耳を傾けました。

拝聴する中で強く感じたのは、伍芳先生自身が震災復興に対してやるべきこととして音楽を選んで実践しているということです。では私たち宗侶はどの様なことが出来るのでしょうか。

未曾有の災害から月日が流れ、人々は先に目を向けてしまいます。しかし、行方不明者のご家族や未だ震災の影響を受けている人々にとってはまだ終わっていないことです。それに対し、宗侶として亡くなられた多くの方々はじめ、それに関わる人々を供養し、また東日本大震災に留まらず、近年多発している自然災害による被災者に対しても安心を届けられるように努力していかねばならないと心新たにさせて頂きました。

仏祖正伝菩薩戒の歴史に学ぶ

〜私にとっての僧侶・授戒の意義を考える〜



第十六教区
松岩寺副住職
小黒澤 和常

二月十三日現職研修会にて仏祖正伝菩薩戒の歴史について学ぶ機会を頂きました。講師の宇野先生より約一時間ほどの講義。内容は日本仏教における授戒について。鑑真和上来日以前の出家からその後、伝教大師最澄の大乗戒壇設置、奈良、平安、鎌倉、室町、江戸、明治など今日の宗門の授戒に至るまでの歴史を七項目に分け学ぶことが出来ました。

これまで住職とお檀家さんの葬儀の中で当たり前に行ってきた授戒。幼い頃よく分からないなかで行った私自身の得度式。何と無く分かっているつもりでも、意外と

知らない歴史について学ぶことができ、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

なかでも、今回の講義で私の心を揺れ動かした話が二つあります。一つは道元禅師が強調された言葉「一生不離叢林」。もう一つは大本山總持寺独住第八世栗山泰首禅師の著書「僧侶家族論」です。

一生不離叢林とは修行道場に安居し、一生涯を仏道修行に専念するという言葉です。宇野先生は「私の中で本山安居で身体に染みついたものは一生ものです。毎日の生活が威儀即仏法・作法是宗旨として、人々に帰依される存在である僧侶であることが私のなかの一生不離叢林です。(微妙な表現の違いがあればご容赦下さい。)」というお話をされました。

もう一つが栗山禅師の著書「僧侶家族論」。明治政府による肉食妻帯令のち歴史の混乱もありながら、禅師様は僧侶の結婚を認め

つつ、夫婦という新しい姿で寺院を運営していく形を著書にて主張されました。

私自身を振り返ると大本山總持寺で修行をさせていただき、現在は結婚し家庭を持ち、日々お檀家さんの葬儀を父である住職とともに授戒を行いながら、松岩寺を守っています。時代の変化の中で一仏両祖様の教えを守り、いかに自身が僧侶としてあり続けるか。今回の研修で大きな課題を頂くことが出来たことを深く感謝申し上げます。

SDGs を学ぶ

総合研究センター
講師 宇野全智師



第一教区
大安寺徒弟
新 穂 高

SDGsとはSustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略であり、国連本部で日

本を含む百九十三の加盟国の合意の下採択された、持続可能な世界を実現するための世界的な目標の事です。その為、基本理念として「誰一人取り残さないこと」を掲げており、貧困や飢餓、不平等の是正、環境の保全や平和の実現のために十七項目の目標が定められています。

私は以前にSDGsについて様々な書籍やネットで調べる機会がありました。その時に私は、自身の知識の無さや意識の低さに愕然としました。世界では多くの助けを求める声があり、中には率先して助けようと行動を起こす者もいます。しかし私は僧侶としてこの問題にどう立ち向かっていけばいいのか、答えを出す事が出来ませんでした。しかし、今回の宇野老師の講義を通して、迷いが段々と晴れていくような気がしました。それは修証義といった曹洞宗の教えの実践に照らして考えることが重

要であると宇野老師が教えてくれたからです。曹洞宗では人権、環境、平和への取組みをこれまで続けており、誰一人取り残さないといった信仰の目標があります。この取り組みはSDGsの理念と重なり、宗門の標榜するところの目標とSDGsの掲げるゴールは合致していることが分かりました。

今後も社会のために「共に仏となるう、仏らしく生きよう、誰一人取り残さない」といった目標のもと、仏道修行を通しての信仰の実践を行っていくところが曹洞宗の僧侶としてのSDGsへの向き合い方であると私はこの講義を通して感じることができました。今後、この気持ちを胸に僧侶として精進、参究して参りたいと思います。最後にはなりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった宇野全智老師に深く感謝の意を表します。ありがとうございました。

十六条戒——その先にあるもの(2)



龍泰寺住職 東北福祉大学客員教授 佐久間 賢 祐

「世界は恋人 世界はわたし」
 『世界は恋人 世界はわたし』筑摩書房より)

ジョアンナ・メイシーは米国の

仏教哲学者で社会活動家である。50年以上に及ぶ平和、社会的公正、環境分野における活動家としての経験とそれらの学識を統合して、この全地球的な危機の時代に、世界を癒すための勇気と英知を一言で端的に表現する。近年は彼女の活動、つながりを取り戻すワーク「アクティブホープ」が世界的な広がりを見せている。この語は、彼女自身が相互依存的連携生起と表現する、華嚴仏教のリアリティ観を表している。『華嚴経』『梵網経』の縁起、前号(所報一〇一号)で確認した「梵網」である。

「この世界の一部分であるあなたは、その全体を含んでいる。」世界は自分と未分化なものではない。世界はいま、自己と恋人の両方として立ち現れうる。全存在で世界とかかわることにより、私たちはその両方の性質を身に帯びる。

梵網の象意が、今日の地球環境問題を考えるときの一つのキーワードとして理解され、環境哲学・実践学で盛んに依拠されている。ノルウェーの哲学者アルネ・ネスが提唱したディープエコロジー、環境哲学の先導をなす詩人ゲイリー・スナイダー、より大きな自己感覚の獲得を目指すワークショップ

「全生命の集い (Council of All Beings)」を考案したジョン・シードなどが挙げられる。いずれにおいても実践的な側面に重点がおかれ、アンツェロポセンテリ (antropocentrism 『旧約聖書』の言葉で人間上位・人間中心主義) からの脱却が共通するテーマとなっている。

そこには、極めて今日的な問題に対処しうる実質的な力として梵網の理念が活かされ、行動規範・社会規範として確立している。

翻って日本。真言律宗の開祖、西大寺叡尊(1201~90)、極楽寺忍性(1217~1303)、二人の師資は中世「救済の人」「奇跡の人」と呼ばれている。

叡尊は、自らを派祖とする叡尊教団一五〇〇ヶ寺を拠点として、高祖様と同時代に慈善救済活動を行った。聖徳太子創建の四天王寺療病・悲田院を再興、奈良西大寺にて数千人規模の「非人施行」を四十年に渡って行った。日本仏教の永きにわたる歴史の中で教派仏教としては特異の活動である病者(癩者)・被差別者・女人・死者救済を行った。

忍性は叡尊の活動を引き継ぎ拡大させた。『元亨釈書』に、忍性が設置した鎌倉桑谷療養所で、二〇年間に癩者五万七千二百五〇人を治療し、治癒したものが五分の四を超える四万六千人とある。『本朝高僧伝』には、弟子二七四〇人、伽藍建築八三、出版事業、架橋一八九、道路修築七一、井戸三三、乞食に布衣三万三千領、その他記すにいとまあらずと記す。当代の人々は忍性を奇跡と讃え、生き仏と尊敬した。

二人の救済事業の理論的背景となるのは梵網戒の実践である。「清浄の戒に汚染なし」と、死穢に対するタブーを乗り越え、「菩薩は一切貧窮の人の来たり乞ふ者を見ては前の人の須むる所に随ひて一切給与すべし。(不慳法財戒)」を実践し、「若し仏子一切疾病の人を見ては常に応に供養すること仏の如

くにして異なることなかるべし。(不看病戒)」を忠実に実行している。不慳法財戒は重戒であり、一銭一針一草、一句一偈一微塵を与えざるは波羅夷罪、仏教界からの追放を意味する。

個人の生活規範としての戒学は、社会性宗教性に乏しい性格のものであるが、二人は梵網戒を見事に社会実践として結果させている。

古代から中世を通して、官僧身分を離脱して遁世した民間菩薩僧は、己証を実践しながら、非人・病者(癩者)・女人・死者救済等にめざましい活躍を見せている。世界史規模で見渡しても、質・量ともに第一級のものがああり、日本仏教の金字塔である。

日本は今日無宗教の国である、無戒である…と表現できるほどに、一五〇〇年の時間をかけて日本人の生活文化に仏法が深く浸透している。無意識の意識が形成されているだけに自覚的積極的にそれを表現しようとはしない。更にはその意識がこれからも永劫に続いていくとは限らない。十六条戒がどのように体系化され敷衍されてきたのかを、先人に、そして外に、学ぶことも意味がありはしまいか。(歴史的考察の観点から時代制約のもと用語しております。ご理解の程お願いいたします。)

人権コーナー

誰もが当たり前にお参りできる供養の場を目指して

この作品は、当事者の方をはじめ様々な方と僧侶が対話を重ね一緒に作り上げてきたものです。



これまで、私たちの社会は「障害のない人」を前提に作られてきました。そのため「障害のある人」に対する配慮や環境もなく、社会から取り残されがちでした...

曹洞宗人権啓発資料作成委員会
不破一浩 曹洞宗人権啓発相談員 宇野全智 曹洞宗総合研究センター
中村和利 特定非営利活動法人 風雲社中理事長 山田悠平 精神障害当事者会 ボルク代表
協力 東京都町田市 祥雲寺 映像 スタジオウーニッシュ
制作 曹洞宗宗務庁

本年度の人権学習会のテーマは「誰もが当たり前にお参りできる供養の場を目指して〜見えない障害のある人の視点から〜」となっている。しかし、新型コロナウイルス感染により大勢が一堂に集まる事が難しくなっております。各教区単位の学習会がどのような形で出来るか状況次第となります。開催に当たってはくれぐれも感染予防に留意され行って頂きたいと存じます。

(S記)

宗務所護持会長を拜命して



第四教区 護持会長 佐藤 出

私は令和元年度曹洞宗宮城県宗務所護持会総会において、当護持会興隆に務められた鈴木敏彦会長の後任として、不肖、佐藤出が会長を拜命することになりました。先ずもって、昨年十月の台風十九号によって被災されました寺院・檀信徒の方々に衷心よりお見舞い申し上げます。本来ですと、会長就任後をはじめとなります本年度総会では、各教区長・護持会長様と本会の運営についてご意見等を賜りたいと思っておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、感染症対策の観点から、総会は書面による議決とした次第です。また、感染防止のため特派布教教場の開催を中止とさせて頂きました。また十月の檀信徒本山研修の実施も難しいと思っております。

私たちは今、大変な試練に晒されています。あの東日本大震災、昨年の台風十九号、今年になっては目に見えないコロナウイルス感染の恐怖、七月の梅雨前線による記録的豪雨。また一方では、少子高齢化や核家族化が進み、さまざま

まな問題を抱えています。そんななか曹洞宗管長福山諦法禅師様は告諭の中で「さまざまな社会の不均衡は多くのひずみを生み私たちが苦悩を抱えながら生きています。また頻発する災害がもたらす人びとのつらさや切なさを我が身に受け悲しみを観じています。お釈迦さまは、あらゆる人に親切に接する慈悲の実践は自ずと心穏やかに暮らす智慧の心を育みますそれはお互いがそれぞれを生かすし合い、尊重し合う社会へとつながります」と私たちにさとし告げられています。私はこの自然の脅威、激しく変わる社会構造・価値観のなかでは、お釈迦様が説かれたあらゆる人に親切に接する慈悲の実践こそが単にモノのある豊かさではない本質的な心の豊かな社会になるものと思っております。何分にも私は浅学菲才の身であります。至らぬところも多々ございますが、何卒みな様方のご指導ご鞭撻を賜りますことを切にお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせて頂きます。

令和元年度曹洞宗宮城県宗務所事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

月	日	曜日	担当	内 容	場所・備考	月	日	曜日	担当	内 容	場所・備考	
4	2	火	梅 花	養成所初級①	宗務所2階講堂	10	8	火	梅 花	養成所初級⑩	宗務所2階講堂	
	4	木	梅 花	養成所上級①	宗務所2階講堂				人 権	全国人権主事研修会(10日迄)	長野県	
	8	月	宗務所	休務(釈尊降誕会)			10	木	梅 花	養成所上級⑩	宗務所2階講堂	
	9	火	人 権	人権擁護推進委員会	宗務所2階講堂				宗務所	責任役員会	宗務所2階講堂	
	10	水	教 化	所報編集小委員会	宗務所会議室		16	水	梅 花	検定委員会	宗務所2階講堂	
	15	月	教 化	寺族会理事會	宗務所会議室		17	木	教 化	所報編集小委員会	宗務所会議室	
	17	水	宗務所	予備監査会					梅 花	師範研修所④	宗務所2階講堂	
	18	木	教 化	婦人会総会	宗務所2階講堂		21	月	宗務所	布教師養成所②(25日迄)	東京(宗務庁)	
	22	月	宗務庁	宗門護持会理事会	東京(宗務庁)		23	水	教 化	護持会本山研修会(25日迄)	大本山總持寺他	
			宗務所	住職勤続祝賀会	仙台新寺斎場清月記				宗務所	宗務所主催臨時教区長会	宗務所2階講堂	
	25	木	宗務所	監査会			29	火	梅 花	検定会①	⑬法山寺	
	26	金	教 化	布教委員会	宗務所2階講堂							
5	8	水	教 化	寺族会総会(9日迄)	ホテルニュー水戸屋	11	6	水	教 化	仏の教えを聞く会②	石巻	
	9	木	管 区	東北管区会計監査 東北管区宗務所連絡協議会(10日迄)	青森県宗務所				梅 花	検定会②	⑰雙林寺	
	13	月	梅 花	養成所初級⑫	宗務所2階講堂		7	木	センター	東北管区布教講習会(8日迄)	仙台サンブラザホール	
			宗務所	教区長会	仙台サンブラザホール		8	金	宗務庁	布教師特設検定	仙台サンブラザホール	
	15	水	宗務所	責任役員会・定例(決算)所会	宗務所2階講堂		11	月	教 化	寺族会研修会(13日迄)	永平寺	
	16	木	梅 花	養成所上級⑫	宗務所2階講堂		12	火	梅 花	養成所初級⑰併設検定会	宗務所2階講堂	
	17	金	梅 花	師範研修所①	宗務所2階講堂		13	水	梅 花	養成所上級⑰併設検定会	宗務所2階講堂	
	20	月	教 化	布教師協議会総会			12	3	火	教 化	所報編集小委員会	宗務所会議室
	21	火	教 化	護持会役員会・監査会	宗務所2階講堂		4	水	管 区	東北管区宗議・宗務所役職員連絡協議会(5日迄)	モントレ仙台	
	22	水	梅 花	梅花流全国奉詠大会(大会1日目・宮城県登壇日)	グランメッセ熊本		5	木	梅 花	研修所⑤・養成所⑱合同一泊研修会(6日迄)	ホテルニュー水戸屋	
	27	月	教 化	教化指導員会	宗務所2階講堂		8	日	宗務所	休務(釈尊成道会)		
	29	水	梅 花	県大会委員会	宗務所2階講堂		10	火	梅 花	企画委員会	宗務所2階講堂	
6	3	月	教 化	護持会総会	宗務所2階講堂		11	水	宗務所	教区長会	秋保佐助	
	4	火	梅 花	養成所初級⑬	宗務所2階講堂		25	水	宗務所	休務(年末年始1月10日迄)		
	5	水	教 化	所報編集小委員会	宗務所会議室	1	16	木	宗務所	休務		
			梅 花	養成所上級⑬	宗務所2階講堂		23	木	管 区	東北管区人権主事連絡協議会(24日迄)	モントレ仙台	
	6	木	宗務所	東北管区集会(7日迄)	山形第二宗務所(上山古窯ホテル)		27	月	宗務所	予備監査会		
			青年会	宗務所共催ソフトボール大会	富谷総合運動場		28	火	梅 花	評議員会	宗務所2階講堂	
	10	月	梅 花	特派講習会(15日迄)			29	水	教 化	寺族会理事會	モントレ仙台	
	17	月	宗務所	布教師養成所①(21日迄)			30	木	宗務所	監査会		
	24	月	教 化	特派布教師巡回布教(28日迄)			31	金	教 化	所報第101号発行 婦人会新年祝賀会	モントレ仙台	
	30	日	教 化	所報第100号発行	宗務所会議室				宗務所	保護司会新年会	仙台新寺斎場清月記	
7	4	木	センター	東北管区教化指導員研修会	モントレ仙台	2	3	月	梅 花	養成所初級⑱	宗務所2階講堂	
	5	金	教 化	第1回現職研修会	①瀧澤寺		5	水	梅 花	養成所上級⑱	宗務所2階講堂	
	8	月	管 区	東北管区人権三者協議会(9日迄)	モントレ仙台		6	木	教 化	布教委員会	宗務所2階講堂	
	10	水	梅 花	養成所初級⑭	宗務所2階講堂		7	金	人 権	後継者対策委員会	宗務所2階講堂	
	16	火	梅 花	養成所上級⑭	宗務所2階講堂				人 権	災害対策委員会	宗務所2階講堂	
	17	水	管 区	東北管区婦人会研修会(18日迄)	山形上山古窯ホテル		12	水	教 化	第2回現職研修会(13日迄)	ホテルニュー水戸屋	
	22	月	センター	教化フォーラム			13	木	宗務所	所会運営委員会	宗務所2階講堂	
	25	木	梅 花	拡大委員会	宗務所2階講堂		15	土	宗務所	休務(釈尊涅槃会)		
8	10	土	宗務所	休務(20日迄)			17	月	梅 花	特別講習会(前泊)	ホテルニュー水戸屋	
	23	金	教 化	徒弟研修会	宗務所2階講堂		18	火	梅 花	一泊特別講習会(19日迄)	ホテルニュー水戸屋	
	26	月	宗務所	宗務所調査会			27	木	管 区	東北管区寺族会役員会・監査会 東北管区所長会	宮城(仙台)	
	29	木	宗務所	予備監査会					センター	教化センター教化活動企画/推進委員会(28日迄)	モントレ仙台	
9	4	水	センター	教化フォーラム			28	金	宗務所	教区長会	宗務所2階講堂	
	5	木	宗務所	監査会		3	2	月	梅 花	養成所初級⑳閉所式	宗務所2階講堂	
			青年会	チャリティバザー			3	火	梅 花	師範研修所⑥	宗務所2階講堂	
	6	金	梅 花	師範研修所③	宗務所2階講堂		4	水	人 権	全国人権主事研修会 6日迄(中止)	奈良県	
	10	火	管 区	東北管区役職員人権啓発研修会(11日迄)	ホテルニュー水戸屋		6	金	教 化	布教師協議会役員会	宗務所2階講堂	
	12	木	教 化	仏の教えを聞く会①	仙台サンブラザホール				宗務庁	全国所長会		
	18	水	梅 花	養成所合同⑱	⑳清水寺		9	月	宗務庁	実務担当者会議(10日迄)		
	20	金	宗務所	休務日(秋彼岸)26日迄					梅 花	養成所上級⑳閉所式	宗務所2階講堂	
10	2	水	センター	教化センター教化推進/企画委員会	仙台江陽ランドホテル		13	金	宗務所	責任役員会・定例(予算)所会	宗務所2階講堂	
			梅 花	梅花流宮城県奉詠大会準備会	仙台サンブラザホール		17	月	宗務所	休務(春彼岸23日迄)		
	3	木	梅 花	梅花流宮城県奉詠大会	仙台サンブラザホール		25	水	教 化	教化指導員会(任期満了)	宗務所2階講堂	
							26	木	梅 花	次期養成所講師打合せ	宗務所2階講堂	

令和2年度曹洞宗宮城県宗務所事業計画(案)

令和2年4月1日～令和3年3月31日

Table with columns: 月日曜日, 担当, 内容, 場所・備考. It lists various events such as '養成所初級 開所式', '宗務所 休務', and '師範研修所' across different months from April to March.

※ 新型コロナウイルス感染防止の為、中止又は延期

第九教区

法圓寺 住職 高橋 宣秀
『続・一日一生』

酒井雄哉 著
発行／朝日新聞出版



「一日一生」今日の自分は今日で
おしまい、明日はまた明日の自分が
歩き出す。

千日回峰行を二度成し遂げ、八十
七歳で逝去「現代の生き仏」「稀代の
行者」と称された酒井雄哉・大阿闍
梨が最後に語った「生老病死」の真
の意味。辛酸を経験の後、比叡山に
上山、二度の回峰行を成就した精神
と、成し遂げる気力、忍耐力、晩年
においても残された言葉の中には、
感謝の気持ちと謙虚な心持ちなど、
酒井師のこれまで語った言葉から徹
選し、まとめた本であり、元厚生労
働事務次官の村木厚子さんが、免罪
事件で勾留され、その時の生活を支
えた著書でもあります。難解な仏教
書とは、また違ったもので、解り易
く、読み易い、人生の生き方の基本
が自然とわかる様な、宗派を問わず
読むことのできる一冊かと思えます。



第十教区

皎善寺 住職 工藤 浩秀
「生き物の死にざま」

稲垣榮洋 著
発行／草思社



世界各地で新型コロナウイルスが猛威を振
るい、多数の死者が出ている中「死
にざま」という題名に目がとまり手
にとってみた本です。著者は、大学
院教授で農学博士。大は象から小は
プランクトンに至るまで二十九の生
き物の「死にざま」を独特の語り口
で紹介しています。ややもすれば忌
避の対象になりそうな生き物にさえ
愛おしさを感じてしまうような物語。
又「死にざま」というより親から子
への命のバトンをつなぐための「生
きざま」の物語。そして親ではなく
ても、同じ遺伝子を持つ仲間を守る
ために戦い、働き、死んでいく物語。
自然の摂理とばかり言ってしまうな
い考えさせられる内容になっている
と思えます。

「精進料理」

英隠元と枝豆の
和え物

岩手県 正法寺 典座 高橋 哲行

【材料】5人分

- ・ 英隠元 15本
- ・ 枝豆 100g



3 枝豆を薄皮まで剥いて摺り潰
します。



4 英隠元を3等分に切りめます。



5 英隠元と枝豆を良く和えれば
完成です。



【作り方】

1 枝豆を5分くらい茹でて冷ま
します。

2 英隠元を歯こたえが残る程度
に茹でます。



教化指導員名簿

任期：令和 2 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

Table with 4 columns: 教区, 寺院名, 任職・徒弟, 氏名. Lists 21 entries for various temples and their staff members.

平成31年・令和1年度 教化指導員活動報告

Table with 3 columns: Date, Activity Name, Location. Lists activities from April 2019 to March 2020.

演劇関連

Table with 3 columns: Date, Activity Name, Location. Lists drama-related activities from April 2019 to March 2020.

西圓寺は石龍山と称し角田市長泉寺十世大然順碩大和尚を開山とする。慶長十年頃の創建であり、御本尊は釋迦牟尼佛である。

寺伝によれば伊達植宗公の菩提寺であった松音寺が仙台開府に伴い慶長七年丸森から仙台連坊小路に移ったのち、残された伽藍を現在の松倉沢の地に移し寺号を石龍山西圓寺と改号、丸森城主・大條薩摩守實頼公を開基とした。

残念なことに昭和十八年に起こった火災により、茅葺の本堂・庫裏・寺宝はすべて焼失してしまいが、現在の本堂・庫裏を二十二世秀孝大和尚が昭和五十二年再建、平成二年には位牌堂を建立し現在の伽藍が出来上がった。境内には火災から逃れ、丸

森町の文化財に指定されている十王堂がある。安土桃山時代の作とされ、中央に閻魔大王はじめ、計十体の大王が鎮座されている。その他には雷神社・文殊堂や観音堂がある。いずれも松音寺の時代のお堂とされている。また天明の大飢饉の碑や一代塔・二十三夜塔など珍しい石碑もある。

現在は町おこしの一環となっている「猫神様」という猫の石碑の観光巡りで、境内にある八基の石碑を見に、愛猫家などの方々が県内外から来山されている。また境内には、先代秀孝大和尚が植樹した紅葉が十数種類あり、紅葉の時期になるとその年々の色を楽しまれる地元の方が憩い・安らぎの場として訪れられる。



第六教区

西円寺沿革

石龍山 西円寺住職 石龍英紀

表紙写真説明

新命住職

第十教区 261番

興安寺 熊本 淳法師 R2・3・5

第十六教区 411番

西光寺 中澤 明彦師 R2・3・5

第八教区 203番

洞雲寺 田崎 元章師 R2・3・24

第二十一教区 54番

林泉寺 三宅 俊邦師 R2・5・13

結制修行

(一層の弁道精進を祈ります)

第十二教区 322番 長谷寺

(令和元 冬・後・初会)

法幢師 鈴木 義隆師

首座 鈴木 志隆兄

第十六教区 405番 峰仙寺

(令和2 夏・前・初会)

法幢師 千葉 坦自師

首座 伊藤 隆祥兄

遷化

(謹んで弔意を表します)

第一教区 8番 R1・11・22

大満寺東堂 西山 廣宣師 79歳

第五教区 114番 R1・12・29

東禅寺東堂 内嶋 泰全師 89歳

第九教区 242番 R2・1・29

慈眼寺東堂 梅澤 正靖師 79歳

第三教区 47番 R2・2・3

西光院住職 坂本 孝温師 73歳

第八教区 203番 R2・2・8

洞雲寺住職 田崎 義章師 69歳

第十二教区 340番 R2・3・15

祥雲寺住職 矢口 好文師 87歳

第一教区 86番 R2・3・18

成就院住職 佐藤 憲哉師 68歳

第二十一教区 63番 R2・4・26

正法寺住職 大窪 則義師 73歳

逝去

(謹んで弔意を表します)

第五教区 115番 R1・7・7

圓龍寺寺族 高橋 きよ様 93歳

第九教区 245番 R2・2・5

雲正寺寺族 藤元ひで子様 67歳

第八教区 190番 R2・6・3

弥勒寺寺族 武藤 昭子様 102歳

※宗務所申請済の情報を掲載

宗務所布教師任命

令和2年4月1日

第二教区 27番

国分尼寺副住職 小枝 誠智師

第十三教区 311番

照源寺副住職 三宅 大哲師

第十七教区 439番

洞林寺住職 三宅 良幹師

※布教師の派遣は宗務所に依頼下さい。

編集後記

今般新型コロナウイルスの拡散が大変な事になってしまいました。クルーズ船に端を発し、水際で阻止できると感じていました。まさかこの様に日本のみならず世界中に蔓延してしまいました。新しい生活と指針が示されておりますが、これまでの日常に戻ることは考えにくい状況です。翻ってお寺の在り方にも影響が出てまいります。ご供養の仕方やお墓参りなど…仏教の「智慧」が必要になってきます。(T記)

宗務所長名の檀信徒用感謝状弔辞を準備しております。

お問い合わせください。